

第23回 曾於地区秋季畜産共進会

曾於地区秋季畜産共進会

第23回曾於地区秋季畜産共進会が9月17日に曾於中央家畜市場で盛大に開催されました。また、共進会に先立って未吉、財部、大隅でそれぞれ品評会が行われ、各地区から40頭が選抜され、日ごろの飼育管理の成果が競われました。

共進会では、各地区の予選を勝ち抜いた精鋭の牛が集結する中、曾於市から多数の牛が上位入賞をしました。

第23回曾於地区秋季畜産共進会 曾於市出品者結果（敬称略）

肉用牛1部

最優秀賞

森岡 尚未	末吉町橋野宮脇
森岡 徳幸	末吉町橋野宮脇
内山 健一郎	末吉町新住吉
堂園 大将	財部町鳥越
中山 和行	末吉町川内西
森岡 雄次	末吉町橋野宮脇
福留 聖治	大隅町柳原
森岡 徳幸	末吉町橋野宮脇
森岡 六男	末吉町橋野宮脇
田口 亨	末吉町椿
森岡 六男	末吉町橋野宮脇
川添 逸生	財部町上大川原

優秀賞

小浜 光	大隅町折田
竹田 清彦	大隅町境迫

酒匂 孝一	大隅町新原
佐伯 秀夫	大隅町神牟礼
福岡 義信	財部町溝ノ口
井手上 哲郎	財部町日光

肉用牛2部

最優秀賞

田口 亨	末吉町椿
森岡 六男	末吉町橋野宮脇
中山 行雄	末吉町川内西
徳留 哲美	大隅町中大谷

優秀賞

吉岡 信作	大隅町大鳥
酒匂 和人	大隅町新原
図師 昭征	財部町島中



肉用牛3部（父系群）3頭1組

最優秀賞

森岡 六男	末吉町橋野宮脇
森岡 六男	末吉町橋野宮脇
森岡 六男	末吉町橋野宮脇
朝倉 政博	大隅町市吉
有島 安美	大隅町大川原
和泉 順子	大隅町中坂元

優秀賞

川畑 アイ子	財部町川畑
増吉 千房	財部町宇都
川畑 勝美	財部町川畑



肉用牛4部

最優秀賞

内山 健一郎	末吉町新住吉
立花 勝美	大隅町神牟礼
内山 健一郎	末吉町新住吉
吉岡 信作	大隅町大鳥

優秀賞

井手上 哲郎	財部町日光
宇都 文夫	財部町高山

第64回 鹿児島県畜産共進会

鹿児島県畜産共進会

第64回鹿児島県畜産共進会が、10月3日に始良中央家畜市場で開催され、曾於地区代表として曾於市から12頭を出品。

厳しい審査の中、曾於市出品牛全頭が優秀な成績をあげ曾於和牛の品質やレベルの高さ、曾於市の名声を広くアピールしました。

また、地区別団体成績では曾於地区は2位に入賞しました。



曾於市出品者結果 (敬称略)

若雌1区

最優秀賞1席

特別部位賞 (前軀賞)

森岡 尚未 末吉町橋野宮脇

最優秀賞4席

森岡 徳幸 末吉町橋野宮脇

最優秀賞5席

内山 健一郎 末吉町新住吉

最優秀賞12席

堂園 大将 財部町鳥越

若雌2区

最優秀賞2席

森岡 六男 末吉町橋野宮脇

最優秀賞3席

田口 亨 末吉町椿

最優秀賞6席

中山 行雄 末吉町川内西

父系群 (3頭1組)

最優秀賞3席

森岡 六男 末吉町橋野宮脇

森岡 六男 末吉町橋野宮脇

森岡 六男 末吉町橋野宮脇

成雌区

最優秀賞2席

特別部位賞 (種牛性賞)

内山 健一郎 末吉町新住吉

最優秀賞4席

立花 勝美 大隅町神牟礼

財部地区秋季畜産品評会

財部地区秋季畜産品評会が9月7日に開催され、財部小学校の5・6年生が体験学習に訪れました。体験したことや学んだことを手紙に書いて、届けてくれました。その一部をご紹介します。

牛の品評会を見て

財部小五年 興松 健作

初め頃は、牛の品評会が何か分かりませんでした。話しを聞いてびっくりすることがありました。それは、肉用種の頭数が鹿児島県は日本で一位だったことにびっくりしました。また、母牛が一年に一頭の子牛を産むのを初めて知りました。子牛は、三十キログラムで産まれ、九ヶ月後には、三百キログラムになることや、牛の体温が三十八度なのがびっくりしました。

品評会の牛の一位条件は、ひんい・メスらしさ・バランスということも初めて知りました。牛をさわってみて、のどの皮がとつてもやわらかかったです。毛もさわるとサラサラしていて、毛がちよっとぬけました。また、鼻には丸いものがささっていました。

畜産センター

財部小六年 住吉 彩風

私は、畜産センターに行ってみて、「周りに自然がいっぱいだな」と思いました。自然がいっぱいだ、ひんぴょう会に来ている牛もおちついていられると思うの

で、良い場所だと思いました。その畜産センターで、鹿児島県は、畜産がさかんだという事や黒牛や黒豚の事など、たくさん学ぶ事ができました。

畜産センターに行った事はありますが、品評会を見るのは初めてだったので、いろいろ知らない事だらけでした。牛の毛は真っ黒で太陽の光が当たるとはんしゃしてきれいにかがやいていました。

初めての事ばかりだったので、とても良い経験になりました。

畜産センターで学んだ事

財部小六年 戸高 彩葉

私が畜産センターで学んだ事は、牛や豚を育てるのは大変だという事です。鹿児島県は、畜産日本一だそうです。

肉用牛の品評会では、「美人牛」を決め、良かった牛は、「ブランド牛」になる事もあるそうです。昔は、田をたがやしたり、物を引っ張ったりする「役牛」として飼っていました。今では、「トラクター」などの機械が発達し、「肉用牛」と呼ばれるようになりました。

牛をさわってみたら、毛がやわらかくてサラサラしていました。品評会にいた牛は、体積が広くて、発育も良く、良い牛ばかりでした。大切に育てられた牛や豚たちの命を頂くときは「ありがとう」という気持ちで頂きたいです。改めて「命の大切さ」を感じ取れて良かったです。

※ほか94名から心温まる手紙をいただきました。